

今度こそ関電に約束どおりに老朽原発を停止させよう！ 口先だけの「県外搬出」の約束でごまかさせないぞ

六ヶ所再処理工場が9月に完成することを目途に、2026年から再処理工場に搬出すると関電が約束したことによって、福井県は昨年10月に老朽原発3基の稼働を容認した。しかしその約束は六ヶ所再処理工場の完成が工事の遅れで2年間「延期」されることによって反古となった。福井県は「1年も経っていないのに見直しでは信頼関係を損なう」と不信感を示し、関電に対し「納得できる説明」を求めた。

関電は本年度末までに新たな「工程表」を提出

関電は9月5日に。福井県庁で知事と面談し、本年度末までに実効性のある計画案を示すと約束し、計画案を開示できない時は、「美浜3号、高浜1,2号の運転は実施しないという不運転の決意で臨む」と約束した。2021年の約束、そして2023年の約束が2度まで反古にされたことは議会でも大きな怒りをかっている。

杉本知事は6日に経産省で齊藤経産相と面談し、「主体的に活動していくと言っていた国に対してもその責任と今後の対応をただしたい」と述べた。

六ヶ所再処理工場の完成のめどはない

再処理工場については、試運転で放射能汚染されたレッドゾーンの耐震安全性問題、失敗したままのガラス固化体製造施設の不備、稼働すれば生産されるプルトニウムの余剰問題(世界中が注視)もあり、実質的には完成して稼働できる見通しは立っていない。完成

が、27回も「延期」され、30年ほども遅れていても誰も責任をとらない、そして税金を食いつぶし続ける全く無責任な事業である。

石破自民新総裁にも野田立憲代表にも まともな原発政策は期待できない！

立憲代表になった野田氏は、民主党政権時には原発推進を行い、事故後も再稼働を容認。今回の代表選でも、「原発ゼロ」は棚上げして、「安全性と地元理解で再稼働」するとした。野田立憲民主は原発推進の「国民民主」と合体の可能性も。

総裁選前には「原発ゼロ」に言及していた石破氏は、総裁選では「安全を前提とした利活用」と切り替えて、岸田派の選挙協力と引き換えに、岸田政権の「原発再推進策」を継承することを約束した。河野や小泉と同様に不誠実な態度である。今度の選挙では、原発に反対する議員を選ぼう！

9/28 ガザ・パレスチナでの虐殺をやめ！直ちに停戦に応じよ！ ガザ連帯 イスraelは国際法違反の無差別攻撃、レバノン攻撃をやめろ！

イスラエルは17日にポケベル・トランシーバを爆発させるという「無差別テロ」によって子どもたちを含む多くの市民を殺した。そしてそれに抗議するレバノンの市民に対し最大規模の空爆を行い、700人以上の死者が出ている。28日にはヒズボラの最高指導者を暗殺するなど暴虐無尽の攻撃を繰り返している。

イスラエル軍はすでに4万人以上のパレスチナ人を殺戮し、世界の、そしてイスラエル国内での「即時停戦」の要求を無視し戦闘を拡大している。

ガザ戦争の即時停戦と人質解放を

関西ガザ緊急アクションが呼びかけた集会は約250人が参加して開催された。役重善洋さんが昨年10月からのイスラエルによるガザ・ジェノサイドを糾弾し、ガザ攻撃、米国・日本のイスラエル支援の即時中止。イスラエル政府のアパルトヘイト犯罪に対し国際社会が具体的行動を展開することを要求。



役重善洋さん

続いて各地の闘いの報告と意見、三菱重工へのBDSの闘いが報告され、大阪憲法会議からの意見表明が行われた。そしてナ

ンバまでのデモ行進が行なわれた。歩道から拍手やVサインを受けながら行進した。

御堂筋なんば駅前街宣行動

デモ行進終了後に、なんば御堂筋での街宣行動が行われた。市民へのガザ問題の訴えを行った。

立憲野党からガザ闘争への連帯の挨拶も行われた。



250人の御堂筋デモ



9・23 老朽原発うごかすな！ 高浜全国集会

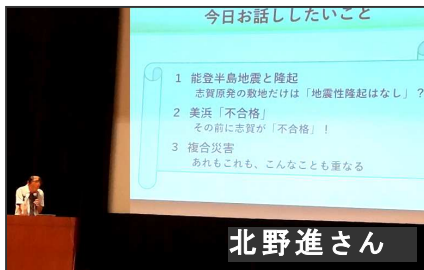


関電高浜原発へ申入れ

9月23日に、多くの老朽原発の稼働を進める関電の高浜原発に対して廃炉要求の集会が呼びかけられ、兵庫や大阪、京都、滋賀、名古屋など各地からバスや乗用車で、そして若狭の各地から360人が参加して開催された。原発近くの公園から高浜原発正門までデモ行進を行った。



中島哲演さん



北野進さん



樋口英明さん

正門前での抗議集会と関電への「申入書」の提出

正門前には「老朽原発即時廃炉」要求の横断幕と旗が林立し、「関電は運転を停止し廃炉せよ」のコールが展開された。代表が関電側に老朽原発の停止と廃炉を要求する「申入書」を読上げて提出した。

老朽原発うごかすな！高浜全国集会(高浜町文化会館)

全国集会は中島哲演さんの挨拶で始まった。中島さんは原発の再稼働を停止させるためにも、保守政権を退陣させねばならないと述べた。

講演「能登半島地震を教訓に原発全廃を！」北野進(志賀原発廃炉)

- ①能登半島地震で、「志賀原発の敷地だけは隆起がない」はウソ！
- ②美浜原発は「不合格」、その前には志賀原発が「不合格」である
- ③複合災害。あれもこれも、こんなことも重なるのです

講演「原発の本質と原発差止訴訟」樋口英明(原発を止めた裁判官)

原発の本質は「人が管理し続けると暴走する」、「暴走した時の被害は想像を絶するほど大きい」の2点である。原発問題はエネルギー問題ではなく、社会と国民、自然を守る「国を守る問題」である。

使用済核燃料問題について、中間貯蔵施設の開設が問題となっている青森県から、県外搬送約束と「乾式貯蔵」について福井県から報告。

全国各地からの闘争報告とメッセージ

続いて敦賀、若狭から闘争報告が行われ、名古屋の廃炉訴訟市民の会は28人が壇上に並んで意気高い報告を行った。若狭での闘いの報告、全国からの20件以上のメッセージが紹介された。



集会決議を全体で確認して、高浜町内のデモに

集会の最後に集会決議が読み上げられ、参加者全体で確認した。デモ行進は360人を3梯団にして町内をデモ行進。出発点に右翼が宣伝カーの大音量で妨害していたが、参加者数で圧倒し整然とデモ行進を行った。町民からの支援もいただき元気よく行進した。



高浜町内を360人で行進

12/8 とめよう原発依存社会への暴走 関電包囲大集会

参加報告 知り つながり とめる 大軍拡と基地強化に NO! (広島県呉市) 9・21 西日本交流集会 9・22 西日本連帯交流会



広島・呉 広大な日鉄呉跡地に複合防衛拠点が

西日本交流集会は、「ピースリンク広島・呉・岩国」が主催し、「広島と沖縄をむすぶドッキング」「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」の共催で開かれた。2日間で会場に延150人+ZOOMで93人が参加された。

「呉で進む基地強化」西岡由紀夫 (日鉄呉跡地問題)

昨年末に閉鎖した「日本製鉄」の呉工場の跡地(130ha)を防衛省が一括購入しようとしている。呉市議会で防衛省は「呉は広島、長崎、岩国と連携しやすい兵站拠点としたい」と述べた。私たちは「要請書」で「戦争につながる防衛省案に反対」を主張し運動を開始しています。



映像で観る西日本の自衛隊増強
宮古 弾薬輸送

「映像で観る西日本を中心とした基地強化」木元茂夫 (すべての基地に NO)

映像を通じて西日本での基地と弾薬庫の問題が報告された。大分敷戸の弾薬庫増設、宮崎県の新田原基地、馬毛島、呉の潜水艦基地等々をリアルに。

「戦場化される沖縄」具志堅隆松 (ノーモア沖縄戦 命どう宝の会)

自衛隊が戦争をする軍隊に変わったことを「知り」、全国130カ所の闘いが「つながり」、戦争を「とめる」ことが必要である。琉球列島を非軍事化する。そして中国に琉球列島には軍事的関与をしないことを約束させる。沖縄を戦場にさせないということは、日本を含む東アジアを戦場にさせないということである。

「オスプレイとヘリの拠点化される佐賀」豊島耕一 (オスプレイストップ佐賀)

オスプレイ反対運動は裁判闘争を中心に展開されています。私たちは少数ですが、世論喚起として直接行動を含む多様な活動を展開。工事ゲート前での封鎖行動を実施しています。「逮捕」のリスクに怯むことなく頑張っています。

「大分ミサイル弾薬庫と特科団」池田年宏 (大分敷戸弾薬庫市民の会)

昨年2月に敷戸弾薬庫に大型弾薬庫2棟を増設する計画、そして今年には7棟の増設追加が判明。周囲3kmだけで4万人が住む住居地域で、これは国際人道法違反です。今年12月1日には大分で「平和をめざすつどい」を開催します。

「湯布院弾薬庫とミサイル」鯨津憲司 (湯布院「敵基地攻撃ミサイル」ネット)

湯布院は温泉地と思われていますが、日出生台演習場など多くの軍事基地があります。昨年9月にミサイル弾薬庫、3月には司令部が設置され、来年3月にミサイル部隊の配備が予定され、沖縄の後備基地となろうとしています。



沖縄うるま勝連分屯地に
地对艦ミサイル連隊



大分 分屯地には弾薬庫
湯布院にミサイル連隊

**** 引き続き22日にも交流会が開かれた ****

広島湾の基地について、新田さん(ピースリンク広島・呉・岩国)、沖縄のうるま陸自演習場について、照屋さん、石垣島の軍事要塞化について、藤井さんから報告。

京都 祝園弾薬庫 八木健彦 (祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネット)

昨年末に時事通信が「102億円で8棟の弾薬庫の増設」と報道、今では192億円の追加。36万人の学研都市のど真ん中。自衛隊に対して住民説明会を要求している。

鹿児島 さつま町弾薬庫 岩崎わか (さつま町弾薬庫建設計画を考える会)

昨年末に「さつま町弾薬庫整備・適地調査に10億円」という南日本新聞の記事。町内で「弾薬庫いらない」「NO!弾薬庫」のスタンディングを行い反対行動を開始。

沖縄辺野古弾薬庫の再整備と核兵器疑惑 山本真直 (空豚ジャーナル)

辺野古の「キャンプ・シュワブ」の横の「辺野古弾薬庫」の拡張工事が、日本政府の「思いやり予算」で進行中。新弾薬庫は設計から「核弾頭庫」の仕様である。核の持ち込みと、核戦争の準備となっている。

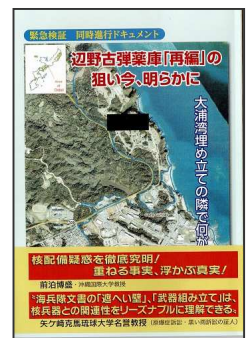
「2日間の交流会をまとめて」新垣邦雄 (ノーモア沖縄戦 命どう宝の会)

今回の論議で、明らかになったのは、「沖縄が危ない」だけでなく「全国が危ない」ということだ。

「課題と問題提起」高井弘之 (ノーモア沖縄戦 愛媛の会)

日米による「対中国戦争態勢—各地の軍事拠点化」を解体し、「反侵略」「アジアの平和と共存」に向けて、どのような共同の闘いを展開するのか。愛媛・沖縄、そして今回の「呉」の集会に続けて、12月には大分で、そして引き続き鹿児島で開催したい。東京行動(対政府交渉など)の展開も考えていきたい。

引き続き、各団体から論議が行われた。残念ながら退出したため詳細は別途参照ください



英労組中央 パレスチナ連帯を決議 (長周 9/20)

英国の労組ナショナルセンターの年次総会で、「中東での戦争の激化を阻止せよ」「イスラエルへの全ての武器輸出を禁止する」の2つの決議が採択された。参加した駐英パレスチナ大使も支援に感謝した。

台湾野党 防衛予算増大に反対 (日経 9/21)

台湾の立法院(国会)では野党が多数である。政権の軍事予算増(前年比 7.7%)、米国製の「ハイマース」ロケットなどの武器の購入、データ通信の一体化、7隻もの潜水艦の建造などの対中国対決予算案に野党は反対し、25年度予算案の審議を拒否した。

米スリーマイル島原発再稼働へ (朝日 9/22)

スリーマイル原発を持つ米電力会社は、マイクロソフト社と20年間の電力購入計画をむすび、事故炉の横で2019年に停止した1号機を再稼働させようとしている。米国では連邦政府や州政府の支援を受けて、原発の再稼働の動きが進められている。

使用済核燃料ゴミ青森に到着 (朝日 9/27)

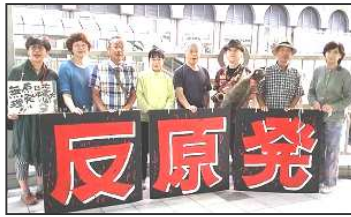
東電が再稼働を予定している柏崎刈羽原発の使用済核燃料69本を収納した「キャスク」が青森県むつの「リサイクル燃料備蓄センター」に搬入された。しかし、再処理工場の破綻で最終処理場になりかねない。

米ボーイング社賃上げスト長期化 (朝日 9/28)

米ボーイング社の機械工中心の労組は13日に16年ぶりにストライキに突入した。5年連続赤字なのにCEOには48億円もの報酬が支払われ、一方で労働者の賃金は6%もダウンしている。会社側は4年間で30%の賃上げを提案したが、組合側はそれでは不十分としてストライキを継続する。

報告 9/28 原発いらナイト宝塚138回

「原発いらナイトin宝塚」の138回は、9月28日の5時から宝塚駅連絡橋で実行。サクソフォン演奏の下、今回は10人で、120枚のチラシを配付した



六ヶ所村再処理工場の破綻と、使用済核燃料の問題、9月23日の高浜全国集会報告、福島原発でのデブリ採取失敗などを訴えた。

案内 10/20 万博遠足だいじょうぶ



大阪関西万博は危険がいっぱい！子どもたちを連れて行っていくのでしょうか？斉藤維新知事は失職しましたがまだまだ危険！！
日時：10月20日 開場13:30
場所：宝塚市立 男女共同参画センター・エル 学習交流室1.2
講師：藤永のぶよ(市民運動家)

案内 10/26 さようなら原発1000人集会



13回目を迎えた1000人集会は「地震大国日本に原発NO！・未来社会に再エネYES」を掲げて開催される。ぜひご参加ください。
日時：10月26日(土)14時より
場所：いたみホール(阪急伊丹)
講師：北野進「珠洲と志賀原発」
飯田哲也「これからのエネルギー」

案内 「東アジアで戦争を呼ぶのは誰だ」 10月5日 高井弘之さん講演会

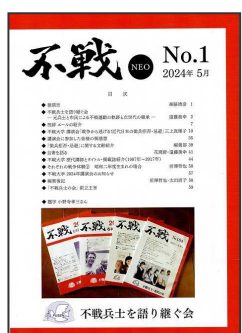


「台湾有事」「朝鮮有事」が煽られて、東アジアに戦争の危機が作られている。
[南京大虐殺]に象徴される「歴史修正主義」、「ウイグル」「債権の罠」等の偽情報、「台湾有事」「朝鮮有事」の扇動、沖縄をはじめ日本中で展開される軍拡と戦争準備と軍事要塞化。
高井弘之さんは「中国への戦争準備をストップ」こそが東アジアでの戦争を止めることができるとして、「中国への戦争準備をストップ」のリーフレットの100万部配付プロジェクト実施中である。

日時：10月5日 13:30
場所：PLP会館 :800円
講師：高井 弘之
ZOOM 視聴も可能です。

案内 「教えられなかった戦争」と私 10月14日 太田直子さん講演会

昨年8月に「不戦兵士・市民の会」は「不戦兵士を語り継ぐ会」として再出発した。戦争が忍び寄る危機的現状だからこそ、不戦兵士の意思をつないで行くとして「不戦大学」を開催される。8月31日予定が台風で延期されたため14日に開催される。



講師は会の共同代表でもある、NHK の映像ディレクターである太田直子さん。NHK Eテレで放映され大反響を呼んだドキュメンタリー「“玉砕”の島を生きてテニアン島 日本人移民の記録」で「第22回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」を受賞した映像ディレクター太田直子さんが、「戦争」と関わるようになった経緯、取材余話、若い世代に伝えたいこと、を語り尽くされる。

日時：10月14日(月・休) 14時~16時30分
会場：埼玉会館7B会議室(さいたま市浦和駅下車)
主催：不戦兵士を語り継ぐ会

